

自主貢献

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

横浜市立錦台中学校 学校だより
発行日 平成29年1月11日(水)
発行者 学校長 梅澤 薫
所在地 神奈川区西寺尾3-10-1
電話 401-3644 FAX431-0244

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/school/jhs/nishikidai/>

己を知り、成長へ

校長 梅澤 薫

生徒の皆さん、新年あけましておめでとうございます。いよいよ年度を締めくくる3学期が始まります。平成28年度を記憶に残る錦台の一ページと出来るよう、それぞれがしっかりと成長することを目指していきましょう。

保護者・地域の皆様、新年あけましておめでとうございます。年が改まりましたが、変わることなく教職員一同で生徒たちに寄り添い、しっかり導いてまいります。今年も皆様の変わらぬご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



多くの方が心を新たにし一年の目標を立てることから、昔より「一年の計は元旦にあり」と言われてきました。諸説ありますが、この言葉は本来「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」の後半部分であり、「何事もはじめに計画をたてるのが大切である」ということを説いているそうです。具体的には、まず目標をもつこと、そしてただ漠然と目標を立てるのではなく、実現に向けた計画を考えること、そして出来ることなら少しでも早く目標に向かって動き出すことが大切であることから、「一年の計は元旦にあり」と言い伝えられているものと思います。まだ、目標を立てていない人がいたら是非考えてみてください。

しかし、目標を立て、その実現に向かって計画をたてるに当たっては、今の自分について理解していなくてはなりません。このような問いかけをすると、いわゆる「反省」と称し、自分の足りないところ、よくないところを思い浮かべ改善しなければと考える人が多くいます。確かに謙虚に自分を見つめ今後活かしていくことは大切なことですが、本当にできていないことばかりでしょうか。自分を肯定的に正確に見つめることも大切です。

昨年までは知らなかったことに取り組んでいる、出来なかったことが出来るようになったなど、皆さんは確実に成長しています。自分では全く意識していないことでも、周りの人から見れば「すごいな、偉いな」と感心することは多くあります。その様な今の姿を甘く評価することなく、かといって謙虚になりすぎることもなく正確に見つめ、今の自分に、将来の自分にふさわしい幾つかの目標を立てましょう。また、途中で計画を修正することはよくあることです。もし途中でうまくいかなかったら計画を見直せば良いのです。目標にたどり着く道は必ずしも一つだけではありません。途中であきらめてしまうのが一番よくないのです。

一年を振り返り、学校も皆さんと同じように新しい目標を考えます。今の錦台中を見つめ、まずはこの三学期を、どう実り多いものにしていくか考えるのです。そして、その成果がさらに次の目標の土台になります。

そんな好循環を生むために、ひとり一人が自信と謙虚さを持ち成長を記してください。皆さんの成長の証を集め、ますます錦台中を笑顔があふれる、誇れる学校にしていきましょう。